1347　循環血液量の評価　－年齢差について－

兵庫県立尼崎病院　RI室　鈴木　雅紹
内　科　周防　正行

循環血液量（BV）の評価に際して加齢による影響を検討した。

BV測定を行なった患者より、BVに変化を来たすと考えられる疾患および重篤な疾患を除外し、出来る限り異常のない男177名、女179名を対象とした。その年齢分布は16～79歳であった。

760～1,140mBq（20～30μCi）の放射性ヨウ化ヒト血清アルブミン（^{131}I-HSA）による実測BV（mBV,mℓ）と、体表面積や身長（BL,cm），体重（BW,Kg）からの重回帰によって予測されたBV（pBV，mℓ）の比（mBV/pBV）について、10歳台ごとに分けた対象群を分散分析した。

mBVでは年齢群によって有意差（P＜0.01～0.05）が観られたがmBV／pBV（BL，BW）およびmBV／pBV（BL^3，BW）では有意差がなく、偏差も小さかった。BVの評価はpBVを基準に行なうのが良いと考える。その予測式は次のとおりである。

男：$pBV(BL, BW) = 37.3BL + 14.6BW - 2542$

$pBV(BL^3, BW) = 4.71 \times 10^{-4} BL^3 + 14.6BW + 1493$

女：$pBV(BL, BW) = 28.7BL + 21.5BW - 1897$

$pBV(BL^3, BW) = 4.32 \times 10^{-4} BL^3 + 21.6BW + 935$

Presented by Medical*Online